

## シ ッ プ 地域支援センターSHIPです！

地域支援センターSHIPは、麻生支援学校の「教育相談・地域支援担当(教育相談コーディネーター、自立活動教諭)」「移行支援担当」の教員で構成されています。SHIP通信は、主に『地域支援センターSHIP』の事業に関するお知らせを掲載しています。

特別支援学校の専門性を生かし、様々な事業を通して地域の子ども、保護者、先生方を支援します。子どもたちが安心して自分らしく、いきいきと過ごせるようサポートしていきます。

### ★「SHIP(シップ)」の名称の由来★

笑顔(Smile)希望(Hope)関わり(Interaction)を、支援の必要な子どもたちへ(For People with special needs)という思いを込めています。子どもたちが自信をもって社会の大海原へ出て行くことができるように支援します。



## 教育相談・地域支援担当から

### 教育相談

校内にいる教育相談コーディネーターと自立活動教諭が窓口となり、子どもたちの教育的ニーズに応じて校内や地域の支援機関と連携した様々なサポートを行います。

#### 《教育的ニーズとは》

子どもたちは、「授業が分からない」「みんなが自分のことを分かってくれない」等様々な悩みや課題を抱えるとともに、その解決に向けて自分自身の力で何とかしようと努力しています。

このような子どもたち一人ひとりの持つ独自の課題が、その子どもの「教育的ニーズ」です。

学校教育では、こうした子どもたちの努力について、直接間接を問わず、その子どもたちに合った方法で働きかけをしていくことが必要です。

また、子どもの教育的ニーズは、子どもが学ぶ環境との関係によっても生じています。

ですから、教育的ニーズに対する支援は、子ども自身の持てる力を伸ばすことで困難さを克服しようとするだけでなく、周囲の理解や指導の工夫、柔軟な教育システム、適切な環境設定等、周囲との関係を見直していくことも大切です。

令和5年3月 神奈川県総合教育センター発行「教育相談コーディネーターハンドブック」より抜粋

## 《相談方法》

### ①電話相談

電話でお話を伺います。匿名での相談もお受けします。

### ②来校相談

来校していただき直接お話を伺います。

### ③学校訪問相談

地域の学校等からの要請を受けて訪問します。子どもの様子や課題を見立て、訪問先の先生方と一緒に支援方法を検討します。



## 麻生支援学校

受付時間 9:00-16:30  
(土日、祝日等はこのぞく)

電話番号:044-980-4854

### ＜令和5年度のメンバー＞

○教育相談コーディネーター 宮澤 直子 ・ 金子 麻衣子

○自立活動教諭 【理学療法士】森田 千佳子 【作業療法士】本間 嗣崇

#### 【理学療法士とは？】

姿勢・動作などの身体に関する支援を行います。

#### 【作業療法士とは？】

学習や生活、遊びなどの様々な活動に関する支援を行います。

## 地域との連携・ネットワークづくり

学校と地域の連携窓口のひとつとして、福祉機関や医療機関と連携しています。また、次のような役割も担っています。



### ○公開講座・研修会の実施

教職員、保護者、関係機関職員を対象に、特別支援教育に関する研修会を実施しています。

※今年度の実施につきましては、決定次第、学校HPや配付チラシ等でお知らせします。

### ○協議会等への参加

自立支援協議会等、地域の協議会や連絡会に参加して関係機関との連携やネットワークづくりをしています。

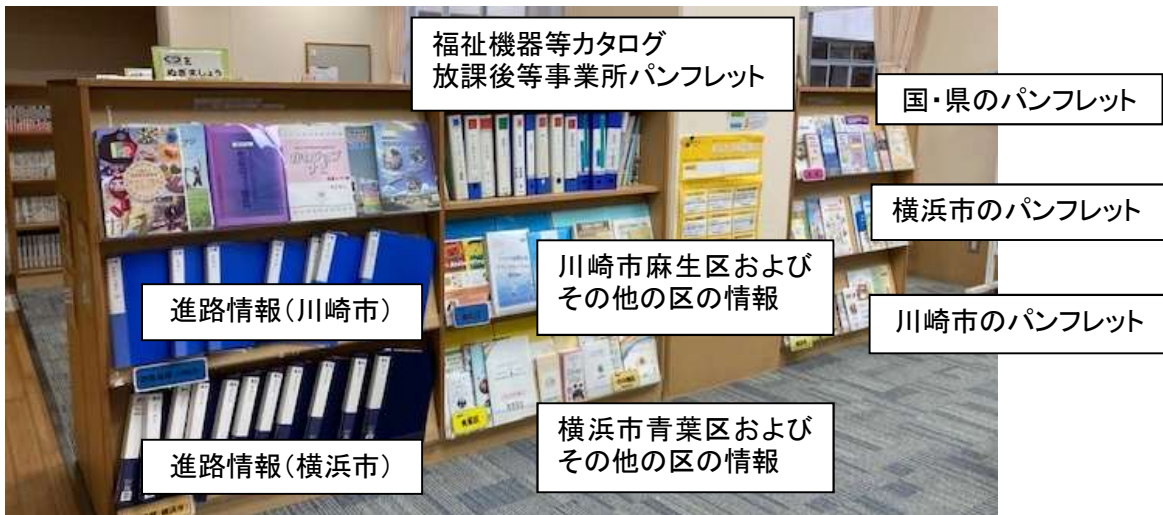
## 情報コーナーの紹介

本校1階昇降口前の図書コーナーに、福祉事業所のパンフレットや地域の広報誌を置いています。奥の壁側にある掲示板とラックは、特別支援教育に関する研修会やイベント等のお知らせ・チラシを掲示しています。

次頁に情報コーナーのレイアウト写真を掲載しましたので、お越しの際にはぜひ御覧ください。



## 《情報コーナー（麻生校舎 1階昇降口前）》



## 移行支援担当から

【令和5年度のメンバー紹介】

麻生校舎担当が 堀井 水香 ・ 大野 裕 ・ 湊 史友子 、分教室担当が 大橋 峻一 の計4名です。

どうぞよろしくお願いいたします。

進路について、いろいろわからない事、不安な事があると思います。ささいな事でも大丈夫ですので、御質問等ありましたら、遠慮なく連絡帳や直接お電話等でお問い合わせください。

## 卒業生の様子



昨年度の卒業生の進路についてお知らせします。

御本人の頑張りはもちろんですが、保護者の皆様にも多大な御協力を頂き、進路先を決めることができました。麻生校舎 A 部門の生徒 8 名は、医療的ケアが必要な生徒も多く、個々の生活や体調などによって 5 日間の契約ではなく、週 2～3 日の契約となった方もいますが、全員、無事に通所先が決定しました。肢体不自由の方（車いす利用）の受け入れができる施設は少なく、医療的ケアのある方を受け入れることができる施設はさらに少なくなるため、受け入れの可能性を求めているいろいろな施設で実習をさせていただきました。

麻生校舎 B 部門の生徒にも、個々の体調により週 2～3 日から通い始める方がいらっしゃいますが、ほとんどの方は 1 か所に 5 日間の通所で決まりました。卒業生 21 名の内訳としては、企業就労 0 名、福祉施設として自立訓練施設 1 名、就労継続支援 B 型施設 4 名、生活介護施設 16 名となっています。

元石川分教室の卒業生 5 名は、進路先が企業就労 3 名、自立訓練施設通所 2 名となっています。

福祉施設通所の卒業生へのアフターフォローとして、主に卒業 1 年目の夏あたりに元担任が様子を見に伺う予定です。学校での生活から進路先にどのように移行しているか見学し、御本人の様子などをお聞きしています。卒業後のスムーズな移行がなされ、頑張っている、成長している姿を見ることができる貴重な機会となっていると同時に、生徒たちも久しぶりに会えた元担任に素敵な社会人になっている姿を見て貰えて、嬉しそうです。企業就労された卒業生へもアフターフォローとして進路先の企業と連携をとっています。

卒業後の課題等があれば、学校から担当者がうかがい、進路先や相談支援機関とのケース会等に参加することもしています。

## 企業と語ろう in 麻生

今年度、7 月 27 日（木）に、「企業と語ろう in 麻生」が、麻生支援学校を会場に開催されます。このイベントは、企業就労についての保護者の疑問や不安を少しでも解消できるように、企業の方と一緒に考え、話し合う場を設定し、将来に向けて今からできることや就労に向けて必要なことなど様々な事例について語り合うことを目的に、毎年各県立特別支援学校を会場に開催されています。今年は会場が麻生支援学校になりますので、御興味のある保護者の方は奮って御参加ください。雇用部会という組織に所属している、特例子会社 10 社の代表取締役など、障害者雇用に力を入れ、日々努力されている方々と直接お話ができるチャンスです。6 月末ごろにお知らせが配られると思いますので、参加御希望の方は麻生支援学校ホームページの申込フォームからお申込みください。

## サタデーセミナー

今年度のサタデーセミナーは、「障害者年金について」です。12 月 23 日（土）開催を計画しています。こちらも奮って御参加ください。